

## 義肢装具製造で培った ノウハウを生かし 中高生の足に優しい 学生用ローファーを開発



### 「妻のために」義肢装具の世界へ

義肢装具は、病気でまひが残ったり、事故で骨折したりした際に歩行を補助する道具として使われるもので、失った体の機能や部分を補う義肢、弱った機能を補う装具、歩行を助ける靴や足底板（インソール）などがあります。アルフィットでは、義肢装具士の国家資格を持つ代表取締役の藤原誠文さんを中心に、医師の処方に基づいて、患者であるユーザーと対話をしながら使う人にとって最適な義肢装具を製造しています。

もともと眼鏡店で働いていた藤原さんがこの業界に入ったのは、小児まひを持つ妻が、義肢装具の調整に苦労していたからでした。

「時間がたつにつれ足の形が変わ

り、細くなると、使っていた装具が合わなくなり、骨や皮膚を傷めることがあります。それを修正するだけでも手間と時間が掛かり、生活に不便が生じます。一人一人に合った、調節もしやすい装具を何とか自分で作れないかと考えるようになりました」

義肢装具メーカーに就職後、国家資格を取るために退職。アルバイトをしながら専門学校に通い、再び義肢装具メーカーで働いた後、40歳で独立を果たしました。

### 足に優しいローファーを開発

義肢装具製造の経験を一般用の製品でも生かすことができないかと、今年開発したのが学生向けの通学用皮革靴（ローファー）です。病院からの

情報を聞くうちに、近年、中高生の間でも外反母趾などの足の変形が目立ってきていることを知りました。学校から指定されたローファーは幅広であり、足の形に合っていないため、インソールで調整しようにもそれを入れられる構造になって

いませんでした。そこで、現在の若年層の特徴を捉えた木型を基に自社でローファーを作製することにしました。靴の形状を足に合わせ細長にするとともに、足先についてはスペースを広げ、指が窮屈にならないようにしています。また、足が内側にずれないように芯を入れてガード。靴底は、つま先で地面からスムーズに跳ねることができるようカーブの形状を工夫しています。満足がいく商品は開発できたものの、課題は販路。学校に制靴として採用してもらうべく営業活動を続けていますが、「長年付き合いのある納入業者から切り替えてもらうのは想像以上に高いハードル」と壁を感じています。

9月16日に参加した「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」では販路開拓を目的に発表。ひょうご産業活性化センターの担当者にはプレゼンテーション資料作りからサポートを受けました。発表後は、中小企業基盤整備機構の担当者からアドバイスがあり、まずは機構が持つ企業OBのネットワークを生かして、市場ニーズを調査し、百貨店での催事出展ができるかどうか可能性を探ることになりました。また、ひょうご産業活性化センターの担当者からは県内の女子中・高の紹介を受けてお



若年層の足の特徴を捉えた木型(左)を基に開発したローファー

り、広がりを感じています。「ひょうご産業活性化センターのバックアップで、自力ではつながらないような所と面会できることだけでもありがたい」と藤原

さんは言います。

当面は学校を中心に営業を掛けていく予定ですが、他の販路も模索中です。「靴は体に大きな影響を及ぼすに

もかかわらず、知られていないことや誤解が多い。地道に靴の大切さを伝えながら、徐々に販路を広げていくことができれば」と、チャンスを狙っています。

会社概要  
株式会社アルフィット

所在地 明石市魚住町金ヶ崎851-1 アーク金ヶ崎106  
代表取締役 藤原誠文  
事業内容 義肢装具の製造

TEL 078-936-2248  
URL <http://arfit.jp/>

## 支援メニュー講座

ひょうご・神戸チャレンジマーケット

# あなたの会社のビジネスプランを応援します 資金調達や販路開拓のチャンスが広がります

### 制度概要

創業・第二創業、経営革新に取り組む中小企業・ベンチャー企業・個人事業主が、ビジネスプランの発表を通じて、金融機関や一般企業等との幅広いマッチング（資金調達や販路開拓等）を行うチャンスを提供するものです。

応募者の中から選定された企業・個人が、「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」において、ビジネスパートナーを求めて参加する金融機関・ベンチャーキャピタル・大手百貨店等の前でビジネスプランのプレゼンや個別商談を行います。

### メリット

- 個別ではアポを取るのも困難な有力企業や金融機関等にビジネスプランを聴いてもらうことができ、取引のチャンスが広がります。
- プレゼン資料（パワーポイント）作成の個別指導に助成が受けられます。また、プレゼン資料は後の営業ツールとして活用できるため、営業の幅が広がります。
- 各種支援メニューにより、事業化を側面からサポートします。

第24回「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」  
2016年2月16日（火）・17日（水）開催予定

現在、「プレゼン企業」のビジネスプランを募集中  
※11月16日（月）締め切り  
詳しくはHP (<http://web.hyogo-iic.ne.jp/kigyochallengemarket>) をご覧ください

問い合わせは ひょうご産業活性化センター創業推進部 新事業課 TEL078-230-8110